



世界に希望を生み出そう

高岡
北
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創立・1980年5月19日	会長 魚住 晃一
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認証・1980年6月12日	幹事 水原 延幸
	国内創立順位・1489	公共イメージ委員長 島 幸美



第1931回 例会 5月 13日 (月)



◇点 鐘

◇国歌斉唱

◇ソング “四つのテスト”

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：高岡商業高等学校 野球部監督 吉田 真 様

◇会長挨拶並びに報告

皆さんこんにちは。連休明け、皆様体調いかがでしょうか。マスクをしています、私は元気です。実は昨晚息子が「友達の5人中3人具合悪いて言ってる」と話していたので、念のためのマスク着用です。食欲もあります。

本日は、創立記念例会です。44年目、来年は45周年です。来年度への序章として、昼に例会を開催しました。

ゴールデンウィーク前にニュースを見ていて、30年後になくなる市町村の発表があり、富山県では5つありました。南砺市、氷見市、上市町、入善町、朝日町です。あくまで消滅する訳ではなく、女性の人数が50%以上減る可能性がある市町村ということでした。その市町村が30年後にゼロになるのではなく、あくまで可能性があるということです。これをロータリークラブに置き換えると、当クラブはどうなるのでしょうか。30年後とは言わず、50周年、100周年を目指して継続していきたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。

◇幹事報告

- 1) 本日例会終了後、5月定例理事会を開催いたします。
- 2) 次回5月20日(月)例会は、「インターアクト海外研修帰国報告」です。
- 3) 回覧：①ガバナー月信NO.11(テーブル毎)
②会報NO.34(//)

◇出席報告 出席者 23名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	4/15例会 修正出席率
1名	33名	85.19 %	77.78 %

◇5月在籍表彰

宮田 義弘 君(33年)

◇5月結婚記念日祝い

- 野尻 信晴 君(4日、51年)
- 紺谷 司郎 君(5日、51年)
- 幸塚 栄三 君(5日、39年)
- 魚住 晃一 君(5日、23年)
- 数田 繁 君(25日、25年)
- 中村 勝治 君(28日、49年)
- 板坂 敏雄 君(29日、48年)

◇5月誕生日祝い

- 島 幸美 君(11日)
- 宮崎 外男 君(22日)
- 魚住 晃一 君(23日)



◇ニコニコBOX報告

魚住会長：連休明け、皆さん体調は戻られましたか？

吉田監督本日は宜しくお願ひします。

荻布精一君：創立記念例会を祝して

幸塚栄三君：結婚祝いを頂きまして有難うございます。きれいだっただ花もすっかり枯れてしまいました。

宮田義弘君：高商野球部吉田監督をお迎えして

島 幸美君：結婚記念日のお花ありがとうございました。40年の節目でした。片山津ゴルフへ行きました。

今日は誕生日のお祝いもありがとうございます。これも節目で65歳になりました。ゴルフ仲間と遠征に行きおめでとうをいただきました。

村牧啓功君：昨日、去年の冬当社でアルバイトをしていた富山サンダーバースの選手の応援に行ってきた。結果は石川に6-0完封負けでした。

【今年度ニコBOX累計額 386,000円】

◇委員会報告

*島 公共イメージ委員長より「ロータリーの友」5月号の紹介

◇本日のプログラム (担当：会場監督)

卓話「目に見えるもの、目に見えないもの」

高岡商業高等学校 野球部監督 吉田 真 様

高岡北ロータリー
クラブの皆様、いつも
私たち高岡商業高校
野球部に対しまして、
ご支援ご声援を賜りま
して、誠にありがとう
ございます。特に、



甲子園大会に出場する折には、たくさんのご寄付を賜りましたこと、誌面をお借りして御礼申し上げます。

さて、私たち高商野球部は、昨秋の北信越大会において初戦で敗退しました。センバツ大会出場が叶わず、悔しさを胸に、捲土重来を期してチームを作り直しておりましたところ、元日に、能登半島地震が起きました。甚大な被害を受けた石川県のみならず、「地震が少ない県」と広く一般に認識されていたはずの富山県も強い揺れに見舞われ、部員をはじめ、OB、学校関係者も、被害を受けた方が多数おられました。幸い、部員や関係者に人的な被害は無く、冬休みから活動を再開することができました。

しかしながら、「今、野球をしても良いのか?」「私たちは今、何をすべきなのか」などと自問しながらおりましたところ、1月中旬に、高岡市の災害ボランティアに部員全員で参加する機会を与えていただきました。非常に身近な地域でも甚大な被害があったことを知り、部員共々、大きなショックを受けましたが、ともに活動をさせていただいた地域の方々から、逆に励ましのお言葉や元気を与えて頂きました。これらの経験から、私たちは改めて『当たり前』の日常が、実は『有難い』ものである」という教訓に気づかされました。

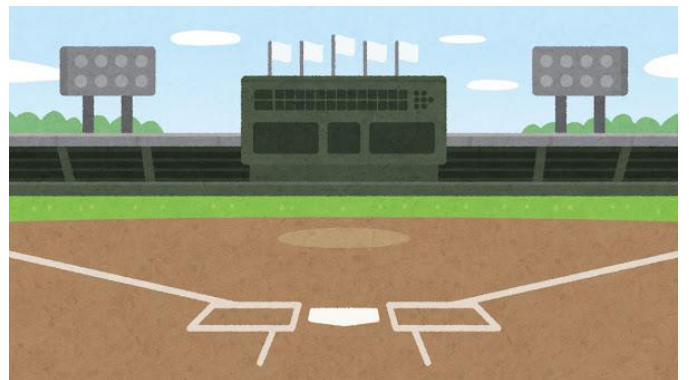


(画像をお借りいたしました)

私たちが携わることができている「高校野球」は、単なる「スポーツ」ではなく、日本の「文化」の一つであると認識しております。幾多のドラマや感動を生み、日本国を活気づけてきたことはもちろん、各界へ多くの「人財」を輩出し続けてきた「教育の一環」でもある「高校野球」。昨今、その「高校野球」も大きく変わろうとしております。長髪を可とするチーム、練習時間を極端に短くして効率化を図るとともに、野球以外の取り組みを行うチーム、全国津々浦々から人材をスカウティングし、有能な選手たちを競争させることで強化を図る有名私学…。ルールの面

では、「飛ばないバット」の採用、二段モーションの解禁、試合時間短縮のためにマウンドにおけるミーティング回数を減らす取り組み…。時代の流れの影響か、日本の「文化」である「高校野球」は、「目に見えて」大きく変化しており、間違いなく潮目を迎えております。かつてはご法度とされていたはずのことが、今ではまるで常識かのごとく評価され、「目に見えるもの」がもてはやされ、「見えないもの」を「可視化」「数値化」する流れは、高校野球においてもスタンダードになりつつあり、私たちもこれらを活用してございます。

しかしながら、私たち高岡商業高校野球部の Philosophy (哲学) は、明治期の偉人たちが採用したスタンス「和魂洋才」であります。常に、科学的見地から練習やトレーニング方法を見直しながらも、決して時流に流されることなく、心揺れない精神的な「軸」をもって活動しております。奇しくも、今年のチームのテーマは「一氣戦心」です。日本人が大切にしてきた「氣」と「心」の文字が入っています。ともに「目には見えないもの」であり、「数値化できるもの」でもありません。しかしながら、本校に伝わる「双龍魂」や「高商健児の意氣」は、確実に現在の部員たちにも受け継がれております。地域を代表する、「県立の伝統校」である私たちが心をひとつにし、富山県そして日本全国に向けて「元氣、勇氣、活氣」を発信し、たくさんの方々の「心を動かす野球」を展開できるよう、日々精進して参ります。今後ともご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



= 5 月定例理事会の報告 =

1. 台湾地震義援金について→承認

*ガバナー事務所より依頼あり。

→1人当たり1,000円を目途。(送金期限5/15迄)

2. 新会員入会について→承認

氏名：山田 容資 (やまだ ようじ)

生年月日：1978年4月5日 (46歳)

事業所名：社会保険労務士法人 高岡労務管理事務所
役職：代表

事業所住所：高岡市伏木一宮 1-4-14

備考：幹事ゲスト；6月17日 (月) 予定

正式入会；7月1日 (月) 予定

